

## 二、工事概要

## 2 建物概要

### 3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

◎ の付いたものを適用する。

	項 目	特 記 事 項
電力貯蔵設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>直流電源装置</li> <li>交流無停電電源装置 (UPS)</li> </ul>	<p>用 途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用</li> <li>受変電設備制御電源専用</li> <li>非常用照明器具電源専用</li> </ul> <p>蓄 電 池</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H S 形鉛蓄電池</li> <li>M S E 形鉛蓄電池</li> <li>( A h )</li> </ul> <p>形 式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>槽仕によるUPS</li> <li>簡易形UPS</li> </ul> <p>用 途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電算機用</li> </ul>
発電設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>自家発電装置</li> <li>太陽光発電装置</li> <li>風力発電装置</li> </ul>	<p>電気方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三相3線式</li> <li>6 . 6 k V</li> <li>2 1 0 V</li> </ul> <p>機 器 類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形式</li> <li>キュービクル形</li> <li>簡易形</li> <li>オ・ブン形</li> <li>発電機 ( k V A 以上 )</li> <li>原動機</li> <li>ディーゼル</li> <li>ガスタービン</li> </ul> <p>防 油 堤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリート製</li> <li>鉄板製 ( 本工事</li> <li>別途工事 )</li> </ul> <p>モジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>結晶シリコン</li> <li>薄膜</li> </ul> <p>風 車</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロペラ形</li> </ul>
通信情報設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 構内情報通信網設備</li> <li>◎ 構内交換設備</li> <li>情報表示設備</li> <li>映像・音響設備</li> <li>◎ 拡声設備</li> <li>誘導支援設備</li> <li>◎ テレビ共同受信設備</li> <li>監視カメラ設備</li> <li>駐車場管理設備</li> <li>犯犯・入退室管理設備</li> <li>◎ 自動火災報知設備</li> <li>自動閉鎖設備</li> <li>非常警報設備</li> <li>ガス漏れ火災警報設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器</li> <li>◎ 配管のみ</li> <li>◎ 配管及び配線</li> <li>交換機</li> <li>局線中継台</li> <li>電話機</li> <li>ボタン電話装置</li> <li>◎ 配管のみ</li> <li>◎ 配管及び配線</li> <li>マルチサイン装置</li> <li>出退表示装置</li> <li>時刻表示装置</li> <li>増幅器</li> <li>スピーカー</li> <li>プロジェクタ</li> <li>スクリーン</li> <li>その他 ( )</li> </ul> <p>用 途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 一般放送</li> <li>◎ 非常放送</li> <li>個別放送</li> <li>音声誘導装置</li> <li>身体障害者用インターホン装置</li> <li>トイレ等呼出し装置</li> <li>インターホン</li> <li>テレビインターホン</li> <li>ナースコール</li> <li>アンテナ ( ◎ U H F</li> <li>B S</li> <li>C S )</li> <li>C A T V</li> <li>カメラ</li> <li>ビデオモニタ</li> <li>タイムラプスVTR</li> <li>配管のみ</li> <li>◎ 配管及び配線</li> <li>車両検知方式</li> <li>光線式</li> <li>ループコイル式</li> <li>機器 ( ◎ 本工事</li> <li>別途工事 )</li> <li>配管 ( 本工事</li> <li>別途工事 )</li> <li>◎ 受信機 ( ◎ P 型</li> <li>R 型 )</li> <li>副受信機</li> <li>中継器</li> <li>◎ 感知器</li> <li>運動制御器 ( 回線</li> <li>単独</li> <li>火報受信機と一体 )</li> <li>感知器 ( ◎ 共用</li> <li>◎ 専用 )</li> <li>複合装置</li> <li>一体形 ( 一般型</li> <li>防雨型 )</li> <li>単独</li> <li>受信機 ( 回線</li> <li>単独</li> <li>火報受信機と一体</li> <li>L P ガス用</li> <li>都市ガス用 )</li> </ul>
中央制御監視設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>形式</li> <li>監視制御対象設備</li> <li>伝送方式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>警報盤</li> <li>表示操作盤</li> <li>監視制御装置</li> <li>動力設備</li> <li>受変電設備</li> <li>自家発電設備</li> <li>防災設備</li> <li>照明制御</li> <li>給排水設備</li> <li>空調設備</li> <li>アナログ方式</li> <li>デジタル方式</li> </ul>
構内配電線路	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気方式</li> <li>施工方法</li> <li>外灯点滅方式</li> </ul>	<p>三相3線式 (</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6 . 6 k V</li> <li>2 0 0 V )</li> <li>単相3線式 1 0 0 / 2 0 0 V</li> <li>単相2線式 ( 1 0 0 V</li> <li>2 0 0 V )</li> <li>地中埋設式</li> <li>架空線式</li> <li>手動</li> <li>自動 ( タイマー</li> <li>自動点滅器</li> <li>中央監視 )</li> </ul>
構内線通路	<ul style="list-style-type: none"> <li>用途</li> <li>施工方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話用</li> <li>時計抗声用</li> <li>火災報知用</li> <li>インターホン用</li> <li>情報通信網用</li> <li>C A T V</li> <li>地中埋設式</li> <li>架空線式</li> </ul>
テレビ監視設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>対策方策</li> <li>責任分界点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市形CATVへの加入</li> <li>共同受信方式 ( ◎ 共同アンテナ</li> <li>館内用アンテナ用 )</li> <li>各戸の保安器一次側</li> </ul>

## 1 一般事項

- (1)現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁官庁の標準仕様書のうち( )印のもの付いたものによる。
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事情編）（平成３１年版）（以下、「標準仕様書」という。）
  - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事情編）（平成３１年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
  - △公共建築設備工事標準仕様書（電気設備工事情編）（平成３１年版）（以下、「標準用」という。）
- (2)国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁官庁官庁の「電気設備工事監理指針（令和元年度）」（以下「監理指針」という。）。を適用する。
- (3)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

## 2 特 記 事 項

- ( 1 ) 項目は番号に ○ 印の付いたものを適用する。
- ( 2 ) 特記事項のうち選択する事項は ● の付いたものを適用する。
- ( 3 ) 印の付かない場合は、 印の付いたものを適用する。 ● と ○ の付いた場合は共に適用する。
- ( 3 ) 一般共通事項のうち ( 5 , 8 , 9 , 10 , 11 , 12 , 14 , 15 , ) 項は、 建築 ・ 機械設備 工事仕様書による。

⑥機材等

⑦機材の品質・性能証明

⑧施工図等

⑨完成写真等

⑩完成図等

11他工事との取合い

12工사용電力・水・その他

13表示板

14足場

本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。また、製造者等が定められている機材については、機材によるほかこれらと同等以上のものとする。ただし、これらと同様以上のものとする場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料をあらかじめ監督職員に提出して承諾を受ける。

なお、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。

使用する機材は、機材による場合は、標準仕様書第1編第1章第4部1.4.2(b)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。

提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。

国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 平成30年版」によるほか、監督職員の指示による。下記のものを出す。

区 分	分類・規格	撮影箇所	部 数	電子データの提出
工事写真	カラーサービス判	各工程毎	1部 ● 部	●要 ●不要
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	2部 ● 部	●要 ●不要

次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。

区 分	名 称	部 数
完成図原図	完成図 ● 原紙 C A Dデータ P D Fデータ 施工図 ● 原紙 ● C A Dデータ ● P D Fデータ	1 部
完成図 2つ折製本	完成図 ● 施工図 完成図（縮小版）	2部 ● 部
完成図書	● 完成図（縮小版） A 4版市販ファイル ● A 4版黒表紙製本 主要機器図 試験成績書	2部 ● 部
保守用説明書 A 4版ファイル	保守に関する指導案内書 機器取扱説明書 主要機器一覧表	2部 ● 部
保証書		1 部
官公署届出書類		1 部
● 原因ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。		

他 工 事 と の 取 合 い

他 工 事 と の 取 合 い	電気設備	機械設備	建 築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補 強	● ●	
	スリーブ・箱入		● ●
● 鉄骨造の開口及び補強		● ●	
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		● ●	
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ●	
● 埋込分電盤・端子盤・ブルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 補 強	● ●	● ●
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		● ●	
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上げ材	切 り 込 み 補 強	● ●	● ●
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクロザー、フロアヒンジ		● ●	● ●
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビッド（蓋を含む）		● ●	
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ●	● ●
● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付け及び配線		● ●	
● テレビアンテナ	基 礎 アンカーボルト	● ●	● ●
● 天井点検口		● ●	
● 自立型制御盤の基礎		● ●	
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置 屋 上 設 置	● ●	● ●

12工사용電力・水・その他

13表 示 板

本工事に必要な工사용電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。

設ける。（寸法等は図面による。建築工事、機械設備工事等と一緒に表示する）

工事表示板

● お問い合わせ板

900

1,200

建築工事中

御通行中の皆様へ

工事名 新築ビル工事  
構造・規模 鉄筋コンクリート造 階建  
延べ面積 m2  
工事期間 令和 年 月 から 年 月 まで  
設計者 設計  
監理者  
施工者 建設  
連絡先機関 -  
夜間 -  
現場責任者  
砂浦町 連絡先 -

令和 年 月 工事完成予定  
簡単なバス、又は立直園を掲載する  
(拡大カラーコピーを張り付けてもよい)  
事業の目的  
現在の進捗率 %  
事業協力のお願い  
工事期間中は、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力よろしくお願ひします。  
施工者 建設 TEL -  
発注者 砂浦町 連絡先 TEL 砂浦町

記入要領

1.書体は角ゴシックとする。

2.お問い合わせ板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとす。

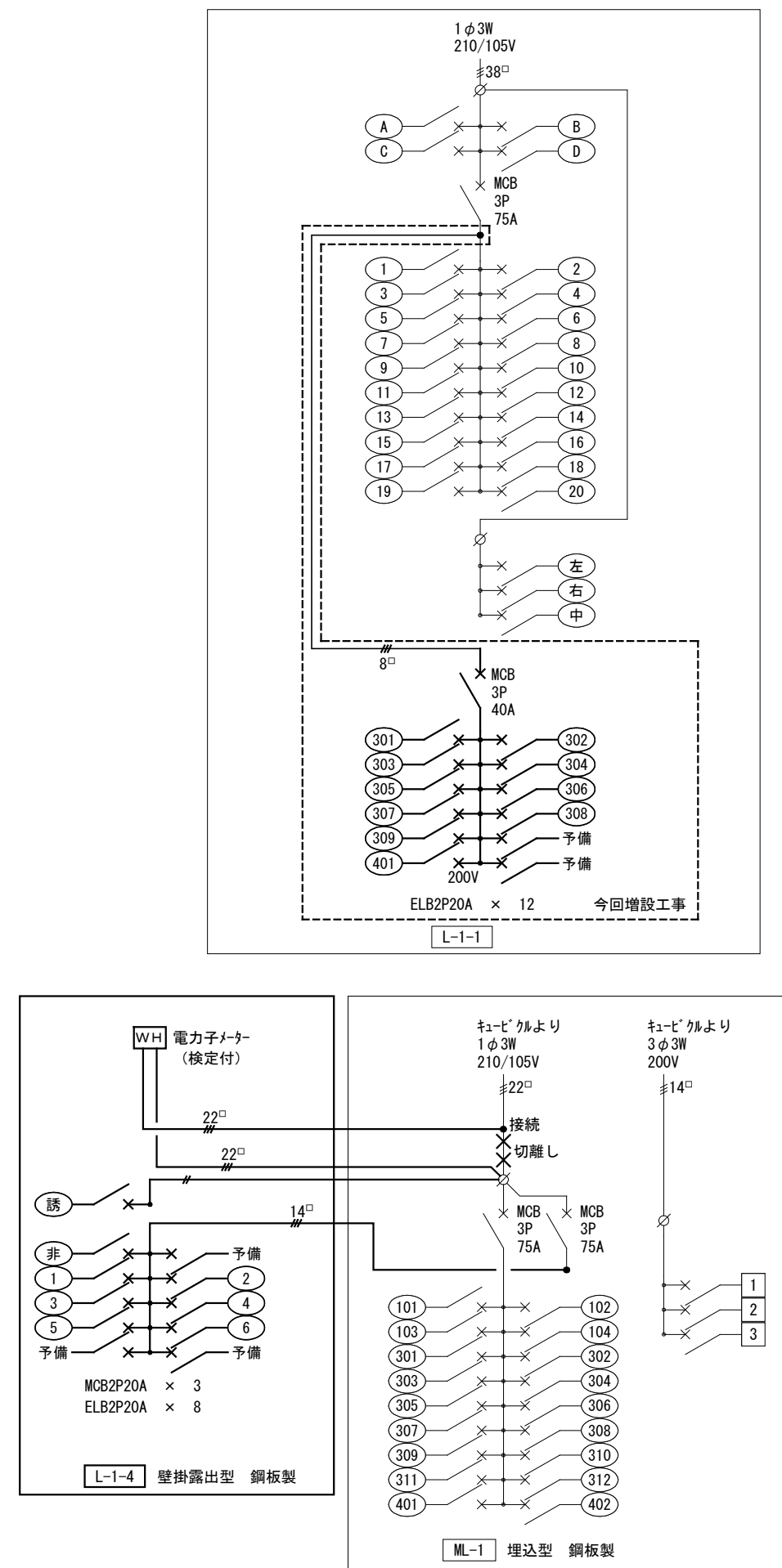
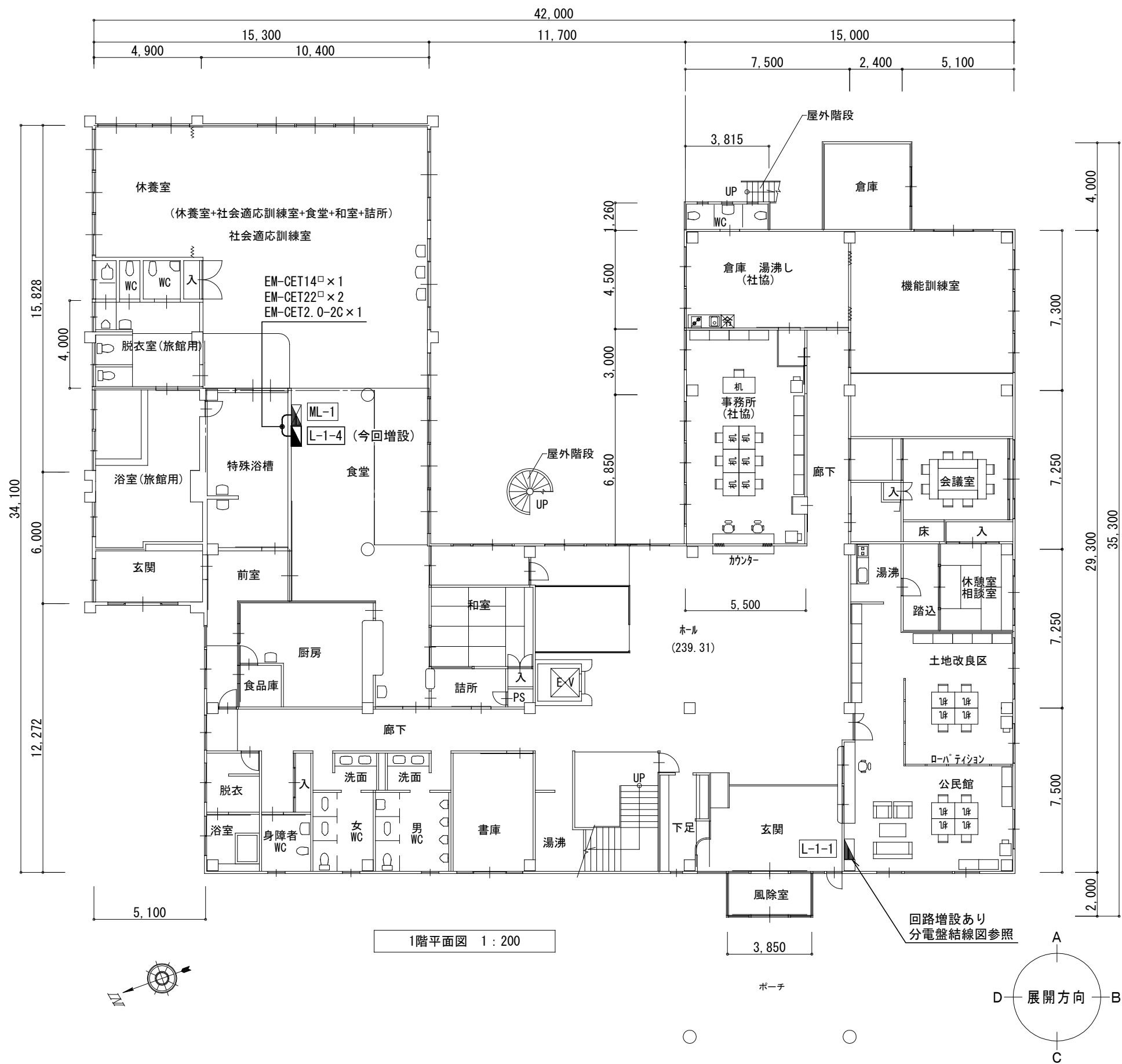
足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省 基準第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。

特記事項	1級建築士登録第304900号 安谷潔美			<div> <div>カノン設計室</div> <div>〒689-2352 鳥取県東伯郡琴浦町浦安370</div> <div> <div>KANNON</div> <div>TEL 0858-52-1175</div> <div>FAX 0858-52-1176</div> </div> </div>	工事名 浦安地区公民館移転改修工事	<div>図面NO</div> <div>E-1</div> <div>電気</div>
	日付 R4.2	縮尺 Non	製図		図面名 電気設備特記仕様書(1)	





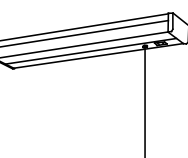
一般共通事項	15 工事用仮設物	構内につくことが ※ できる ● できない	30 補修など	工事の施工に伴い既存部分が汚染又は損傷した場合は、既成ならい補修する。	10 設備	1 増幅器	形式（ ● 卓上形 ● ラック形 ） 定格出力（ W ） 性能（ ● H i 形 ● L o 形 ） ● 増幅器の入出力配線と外部配管（壁ボックス等）の接続はコネクターによる。
	16 土工事	埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類（ ） ● 真砂土（ ）	31 はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	11 誘導	1 音声誘導装置	検出方式（ ● 磁気方式 ● 無線方式 ● 画像認識方式 ）
	17 電線類	建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積	32 はつり工事における非破壊検査	探査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査 ●		12 火災報知設備	① 自動火災報知設備 受信機（ ● 型 級 回線（蓄積型） ● 複合形 ● 単独形 ） ● 防火戸用（ ※ ラッチ式 ● 電磁式 ） ● 防煙ダンパー用（ ※ 電動復帰 ● 手動復帰 ） ● 防火シャッター用（ ※ 別途工事 ● 本工事 ）
	18 電線本数・管路等	● 構内に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積	33 あと施工アンカー	1）施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う	13 構内配電線路	2 自動閉鎖設備	検知器（ ● 天井取付形 ● 壁取付形 ）
	19 厚鋼電線管の溶融亜鉛メッキ	ＥＭ電線類で規格等の定めのないものはハログン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。	34 室内空气中の化学物質の濃度測定	試験方法 引張試験機による引張試験		1 施工方法	埋設深さ ※ G L－3 0 0 以上、舗装のある場合は路盤下－3 0 0 以上とする。 ● G L－6 0 0 以上（ ● 車路 ● 高圧配線 ● 幹線 ● ）
	20 露出配管の塗装	通信ケーブルで J C S 規格にない対数のケーブルは J C S 規格に準じたものとする。	35 火災保険等	確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト 1 本に作用する引抜き力以上		2 地中箱	ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。
	21 波付硬質合成樹脂管（FEP）	壁内配線は E M 電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。	36 鳥取県公共事業環境配慮指針	試験箇所数 1 施工単位に対し 1 本以上		3 高圧負荷開閉器	● 閉鎖形（ ● 軽閉鎖形 ● 重閉鎖形 ） ● 地絡継電器付（ ※ 方向性 ● 無方向性 ） ● 避雷器内蔵 ※ 別置制御装置までの制御ケーブルを付属する。
	22 フラッシュプレートの材質	ハーネスジョイントボックス用 O A タップのケーブルはハログン及び鉛を含まない材料とする。	37 建築物省エネ法	対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置	14 構内通信線路	4 高圧ケーブルの端末部	高圧ケーブルの両端部にシースの縮み対策（熱伸縮テープによるシースずれ止め対策等）を行う。
	23 カバープレートの用途別表示	分電盤、制御盤、端子盤などの 2 次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。	38 建築物省エネ法	工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで「概ね工期＋21 日」とする。）		5 高圧ケーブルの屋外端処理	● 一般形 ● 耐塩形
	24 地中箱	メッキ付着量 3 0 0 g / m <sup>2</sup> 以上とする。（ ※ 屋外 ● ）	39 建築物省エネ法	※ 対象工事	15 テレビ電波受信障害調査	6 標識シート	※ 高圧 ● 低圧
	25 耐震施工	波付硬質合成樹脂管（ F E P ）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。	40 建築物省エネ法	※ 対象工事		7 照明用ポール	照明用ポールには配線用遮断器（トリップ機能なし）又はカットアウトスイッチ（素通しヒューズ）を内蔵する。ただし、ガーデナライトは除く。
26 接地極	26 接地極	シール等を貼付する。	41 照明器具	1） L E D の光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。 L E D の光源色（ ※ 昼白色 ● 電球色 ）	16 その他	1 調査仕様	図面に記載されていない事項は、すべて（一社）日本 C A T V 技術協会の「建物によるテレビ受信障害調査要領」及び「建物によるテレビ受信障害調査要領（地上デジタル放送）」の最新版により調査を行い、同協会の技術審査を受けるものとする。
	27 屋上、屋側の支持金物等	蓋の記号表示は特型流込み（鳥取県又は鳥取県東部、及び用途を記入）とし、ハンドホール内のケーブル支持等はマンホールに準じて行う。	42 一般照明の照度測定	測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。）		2 テレビ電波受信障害調査時期	※ 事前 ● 中間 ※ 事後
	28 結露防止	設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」（平成 8 年版・建設大臣官房官庁営繕部監修）によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針 2 0 1 4 年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。	43 非常用照明の照度測定	※ 設置した各部屋 2 箇所以上 ●	17 電力貯蔵設備	3 受信する受信波及び地点数	中継局 波： 地点
	29 アスベスト含有建材の処理	1）設計用水平地震力	44 照明制御の照度測定等	照度測定時期 1 0 0 % 点灯時（ ※ 夜間 ● 昼間 ） 調光制御点灯時（ ※ 夜間 ※ 昼間 ）		4 報告書提出部数	※ 事前 3 部 ● 中間 部 ※ 事後 3 部
	30 建築物省エネ法	2）設計用標準水平地震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は、次による。	45 機器への接続	※ 電動機などへの接続は本工事とする。 ● 別途工事	18 電力貯蔵設備	1 機器取付高	機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高 3 m 以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。
	31 建築物省エネ法	設計用標準水平地震度	46 大地抵抗率の測定	● 工事着手前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極省略判定記録書を監督職員に提出する。		電力共通	表 示
	32 建築物省エネ法	設置場所	47 外部雷保護設備接地システム	● 構造体利用接地極 ● A 型接地極 ● B 型接地極	19 電力貯蔵設備	電灯	名 称 測 点 取付高（mm）
	33 建築物省エネ法	機器種別	48 変圧器移動車輪	7 5 k V A 以上に取付。 ● 本工事 ● 別途工事		動 力	取引用計器 地上～窓中心 1,800～2,000
	34 建築物省エネ法	重要機器	49 デマンド監視装置	● 本工事 ● 別途工事	20 電力貯蔵設備	構内交換	引込開閉器 地上～中心 1,800～2,200
	35 建築物省エネ法	一般機器	50 室内照明	前・後に設置する。		電気計測	分電盤・O A 盤・実験盤 床上～中心 1,500（上端 1,900 以下）
特記事項	36 建築物省エネ法	重要機器	51 交流無停電電源装置（UPS）	停電補償時間（ 分 ） 方式（ ● 常時インバータ給電方式 ● ラインインタラクティブ方式 ● 常時商用給電方式 ）	21 電力貯蔵設備	火災	スイッチ ” ” 1,300
	37 建築物省エネ法	重要機器	52 自家発電装置	運転時間（ h ） システム連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無 ）		報 知	” （多機能トイレ） ” ” 1,100
	38 建築物省エネ法	重要機器	53 ディーゼル発電装置	出力（ kW ） 配電盤外箱（ ● 有 ● 無 ）	22 電力貯蔵設備	ガ ス	コンセント（一般） ” ” 300
	39 建築物省エネ法	重要機器	54 ガスエンジン発電装置	保安装置（重故障項目特記 ● 有 ● 無 ） 外部用端子（ ● 要 ● 不要 ）		小 林	” （和室） ” ” 150
	40 建築物省エネ法	重要機器	55 ガスタービン発電装置	減圧水槽及び初期注水槽の材質（ ● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製 ）	23 電力貯蔵設備	勝 英	” （土間） 床上～中心 800～1,300
	41 建築物省エネ法	重要機器	56 熱併給発電装置	オイルタンク（ ● 地下 ● 屋内 ）		産 業	” （車椅子用） ” ” 900
	42 建築物省エネ法	重要機器	57 燃料電池発電装置	燃料小出槽（ ٪ ）：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。 材質（ ● 鋼板製 ● ステンレス製 ）	24 電力貯蔵設備	機 械	ブラケット（一般） ” ” 2,100～2,300



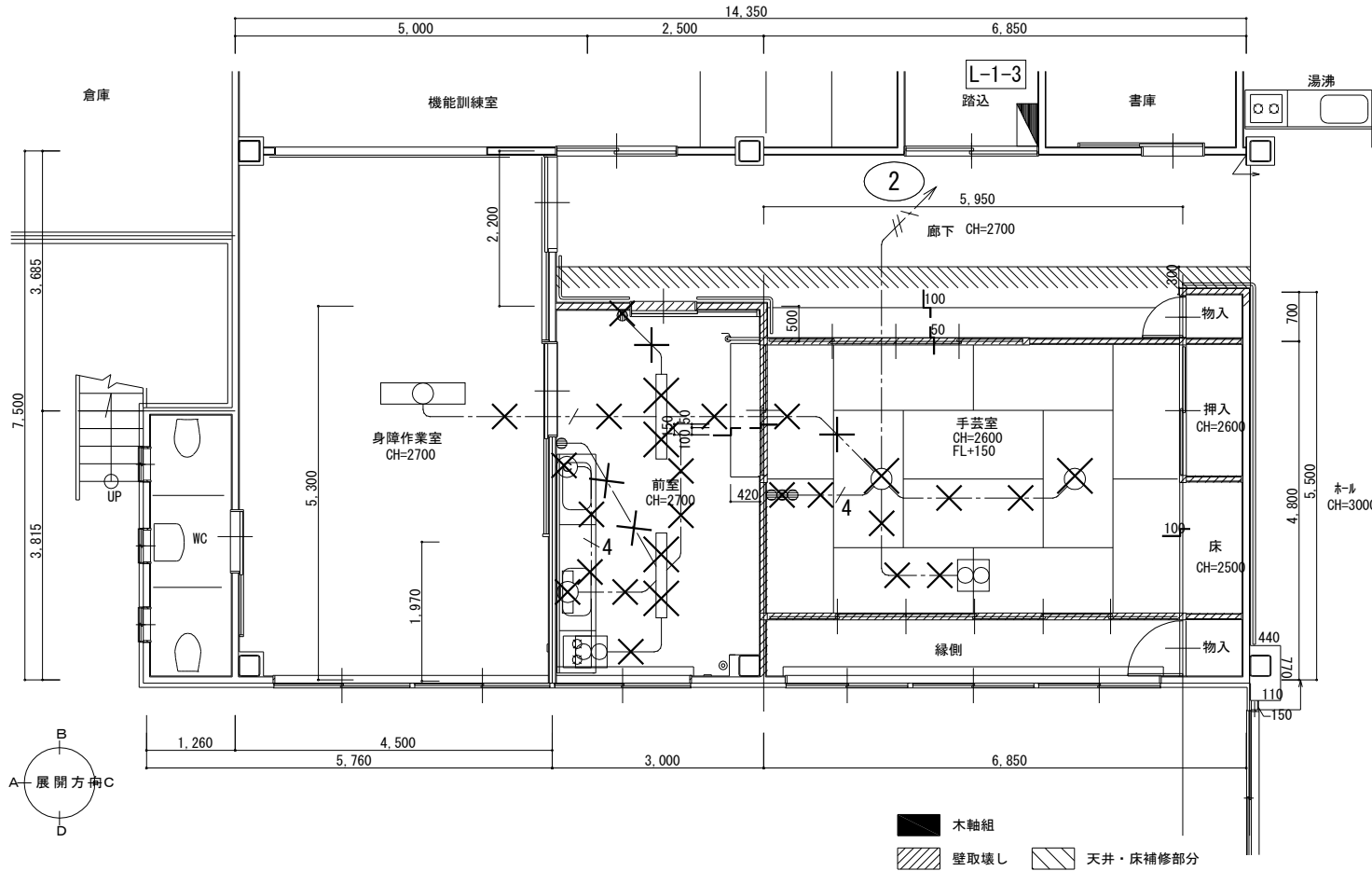


1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン カノン設計室		TITLE 浦安地区公民館移転改修工事		NO E — 3	
DATE	CHIEF	DRAW R3. 12		KANNON		幹線設備 (事務所・デイスサービス)		DRAWING NO	
				TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		S S:1:200			

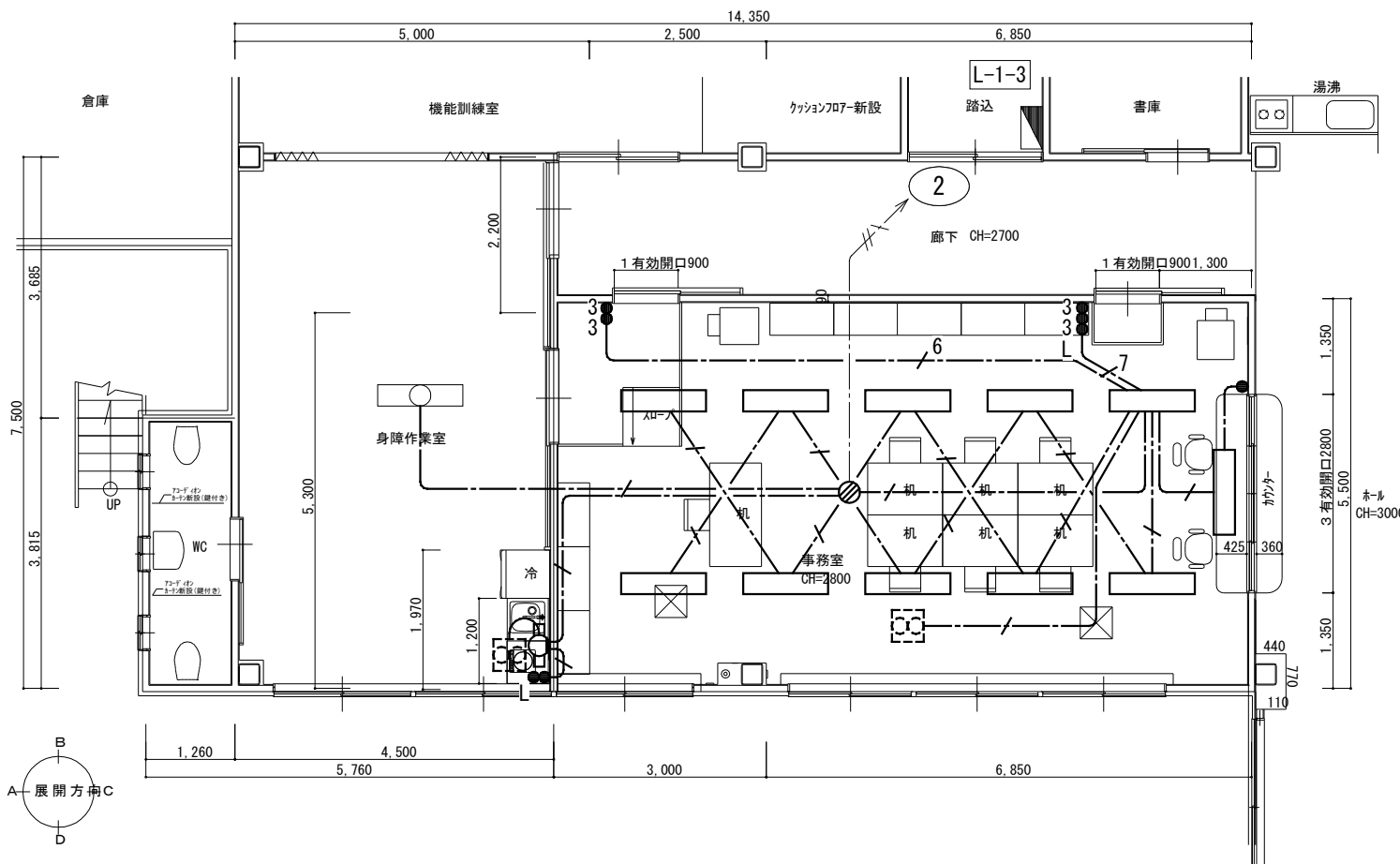


事務室	LED直付25W	10	カウンター	LED 埋込 下面開放	1	流し元	LED棚下・壁付 12W	1
	FLR40W×2灯相当 4000lm			Hf32W×1灯相当 3200lm			FL20W×1灯相当 980lm	
<div></div> <p>一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力25W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>			<div></div> <p>一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.6W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p>			<div></div> <p>昼白色（5000K）、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、壁直付型・棚下直付型、コンセント付、プルスイッチ付 カバー：プラスチック（乳白）</p>		
パナソニック 直付LX440AENULE9 昼白色			パナソニック 埋込LX430PENTLE9 昼白色			パナソニック LGB52095LE1 昼白色		

※ 照明器具は全て参考とする。



既 存 平 面 図 1/100



改 修 後 平 面 図 1/100

注 記

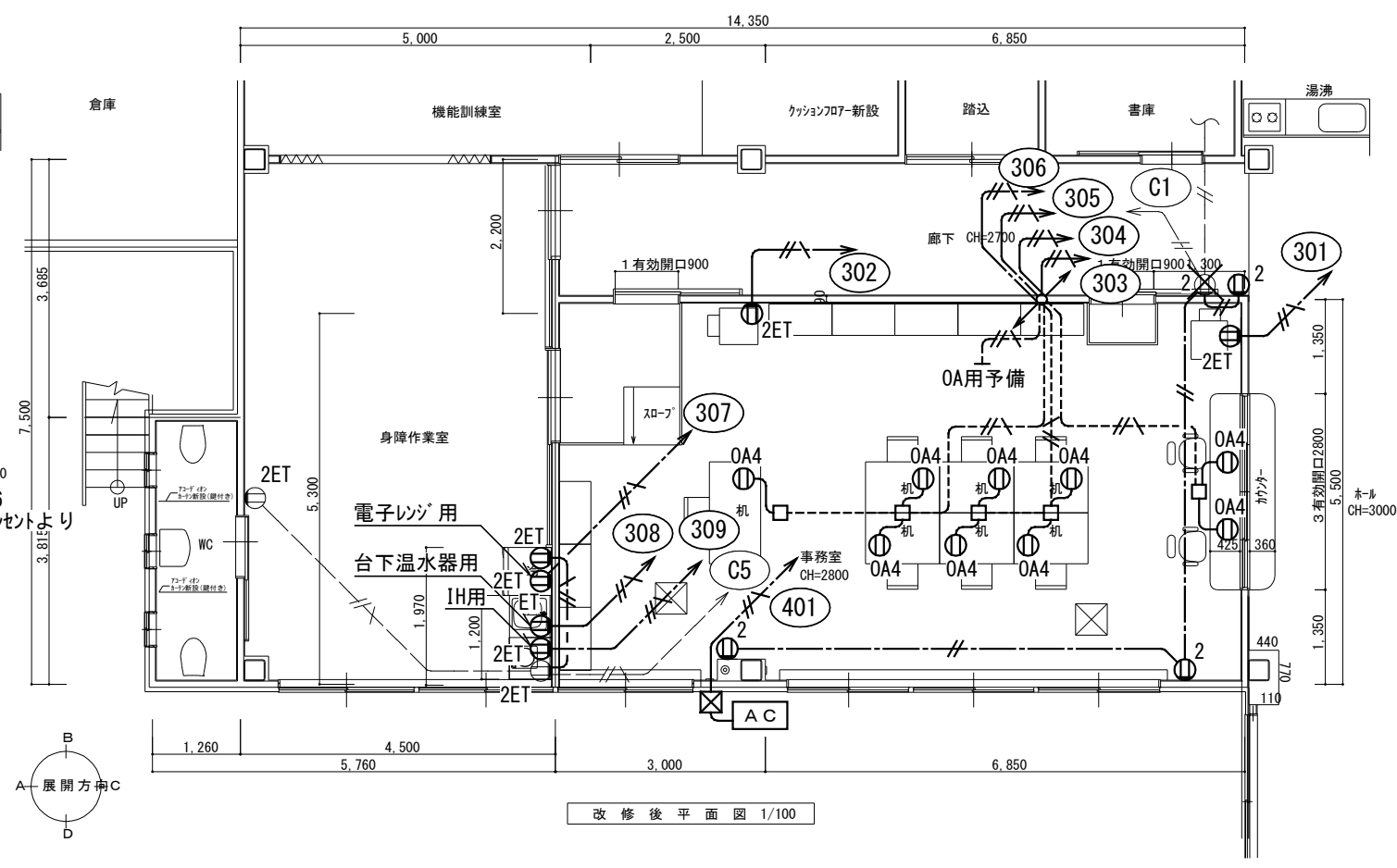
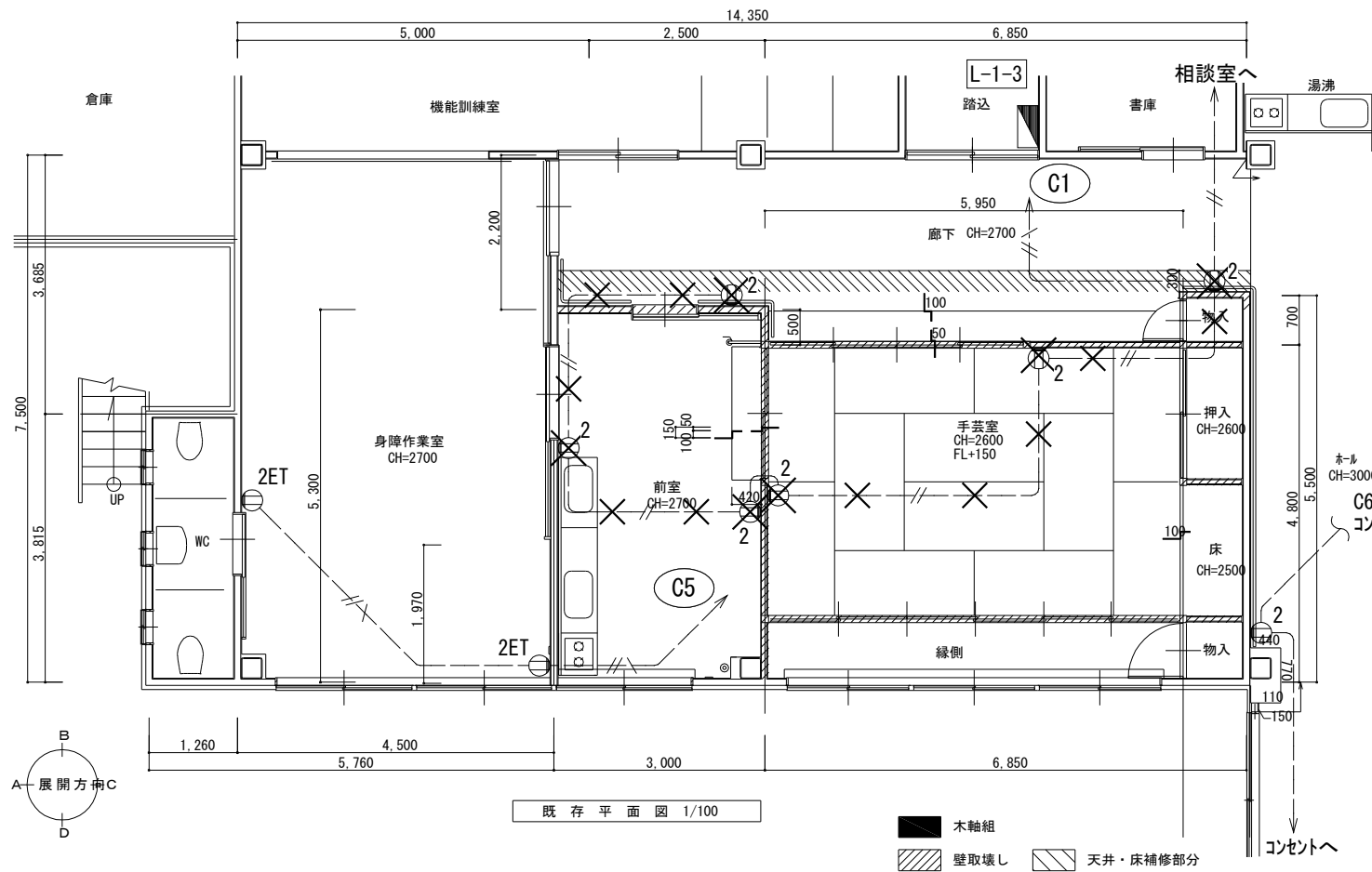
1. 図中特記なきは、下記の通りとする。
- |       |          |
|-------|----------|
| ----- | 天井ころがし配線 |
| ×     | 撤去       |

注 記

1. 図中特記なきは、下記の通りとする。
- |       |              |                           |
|-------|--------------|---------------------------|
| ----- | EM-EEF1.6-2C | (ころがし)                    |
| ----- | EM-EEF1.6-3C | (ころがし)                    |
| ●     | 片切スイッチ       | 1P15A×1 (フルカラー・ネーム付 新金属)  |
| ●3    | 3路スイッチ       | 3W15A×1 (フルカラー・ネーム付 新金属)  |
| ●L    | パ イロットスイッチ   | 1PL15A×1 (フルカラー・ネーム付 新金属) |

			1級建築士登録第304900号 安谷 潔美	住空間デザイン <b>カノン設計室</b> TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 浦安地区公民館移転改修工事	NO E — 4
DATE	CHIEF	DRAW R4. 1	電灯設備 撤去・改修図（事務室） S S=1:100			DRAWING NO





注 記

1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

-----	天井ころがし配線
- - - - -	床いんぺい配管・配線
×	撤去

床いんぺい配管・配線は配線のみ撤去、配管は残置とする。

注 記

1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

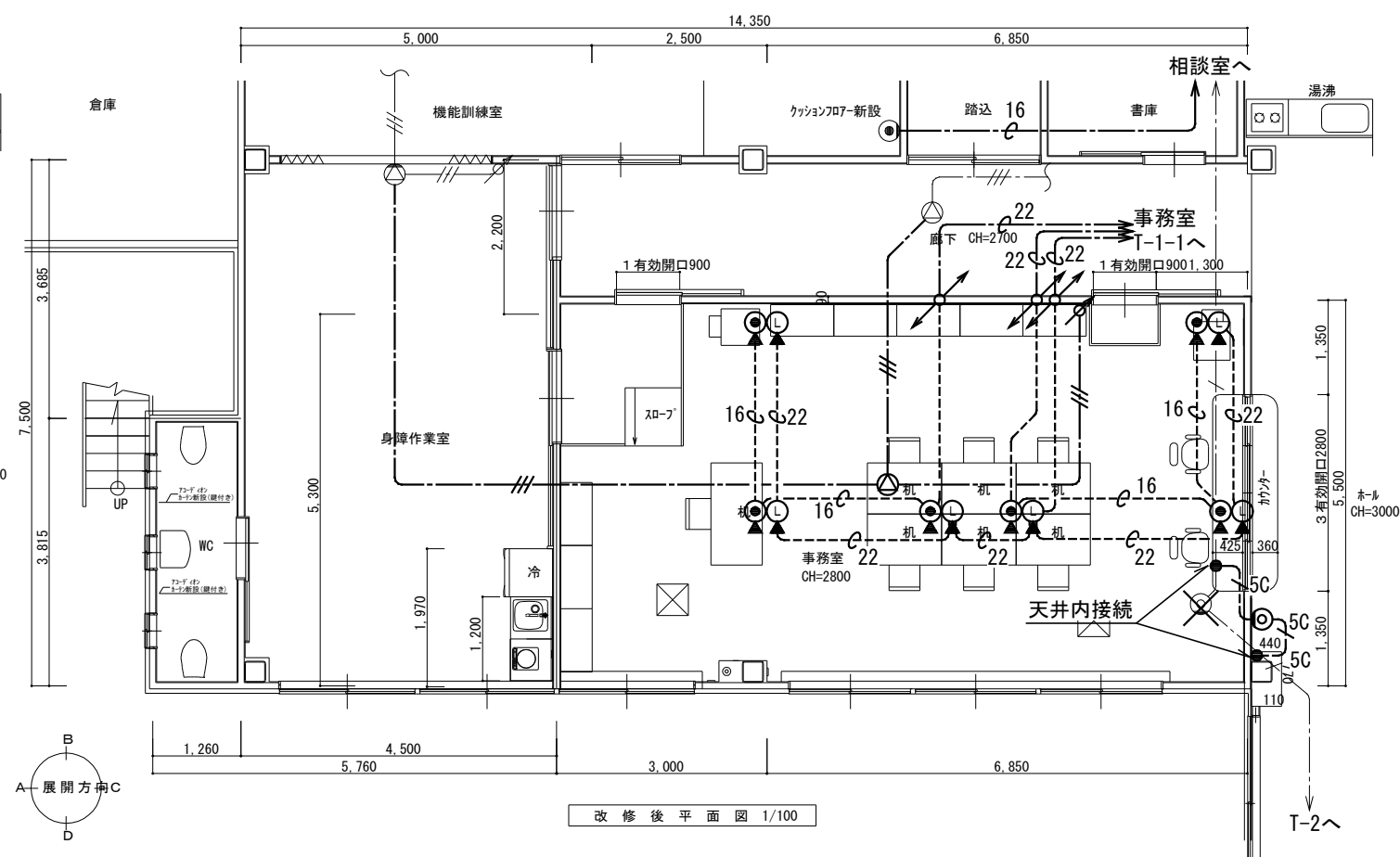
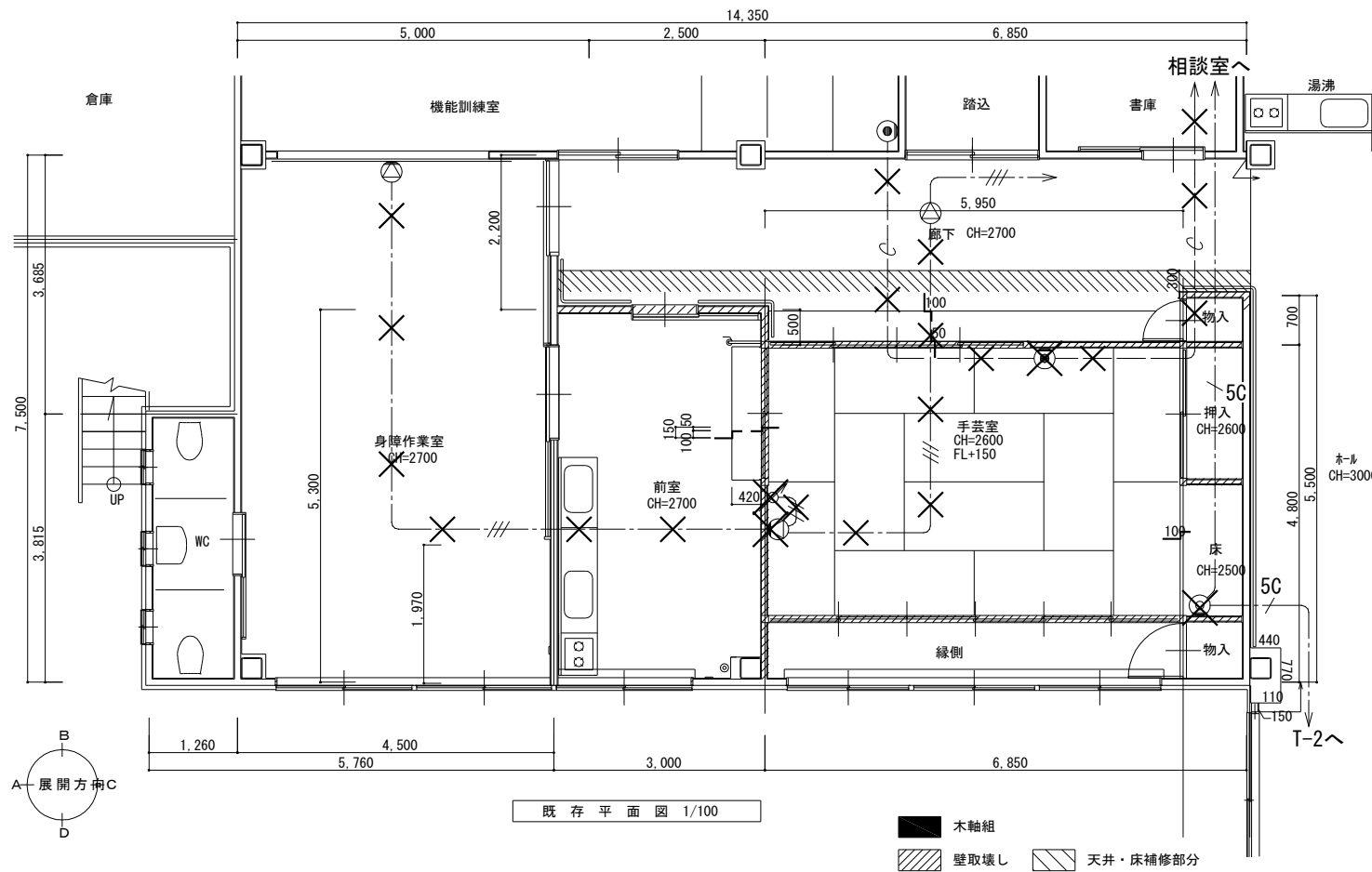
-----	EM-EEF2. 0-2C	(ころがし)
-----	EM-EEF2. 0-3C	(ころがし)
-----	EM-EEF2. 0-3C	(OA内)
⓪2	2口コンセント	2P15A×2 (フルカラー新金属)
⓪ET	1口アース付コンセント	2P15AE×1+ET (フルカラー新金属)
⓪2ET	2口アース付コンセント	2P15AE×2+ET (フルカラー新金属)
□	OA707アハーネス <sup>®</sup> ヨイントボ <sup>®</sup> ックス	(2分岐)
⓪OA4	ハーネス用OAタップ <sup>®</sup>	4口アース付

新設回路 (301) ~ (308) (401) は、事務室既存分電盤L-1-1へ接続とする。

ITコン電源は冷媒管共巻きとする。

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン <b>カノン設計室</b> TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 浦安地区公民館移転改修工事  コンセント設備 撤去・改修図(事務室)  S S=1:100	NO E 5  DRAWING NO
DATE	CHIEF	DRAW R4.1	KANNON			





注 記

1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

- 天井ころがし配線
- 床いんぺい配管・配線
- 撤去

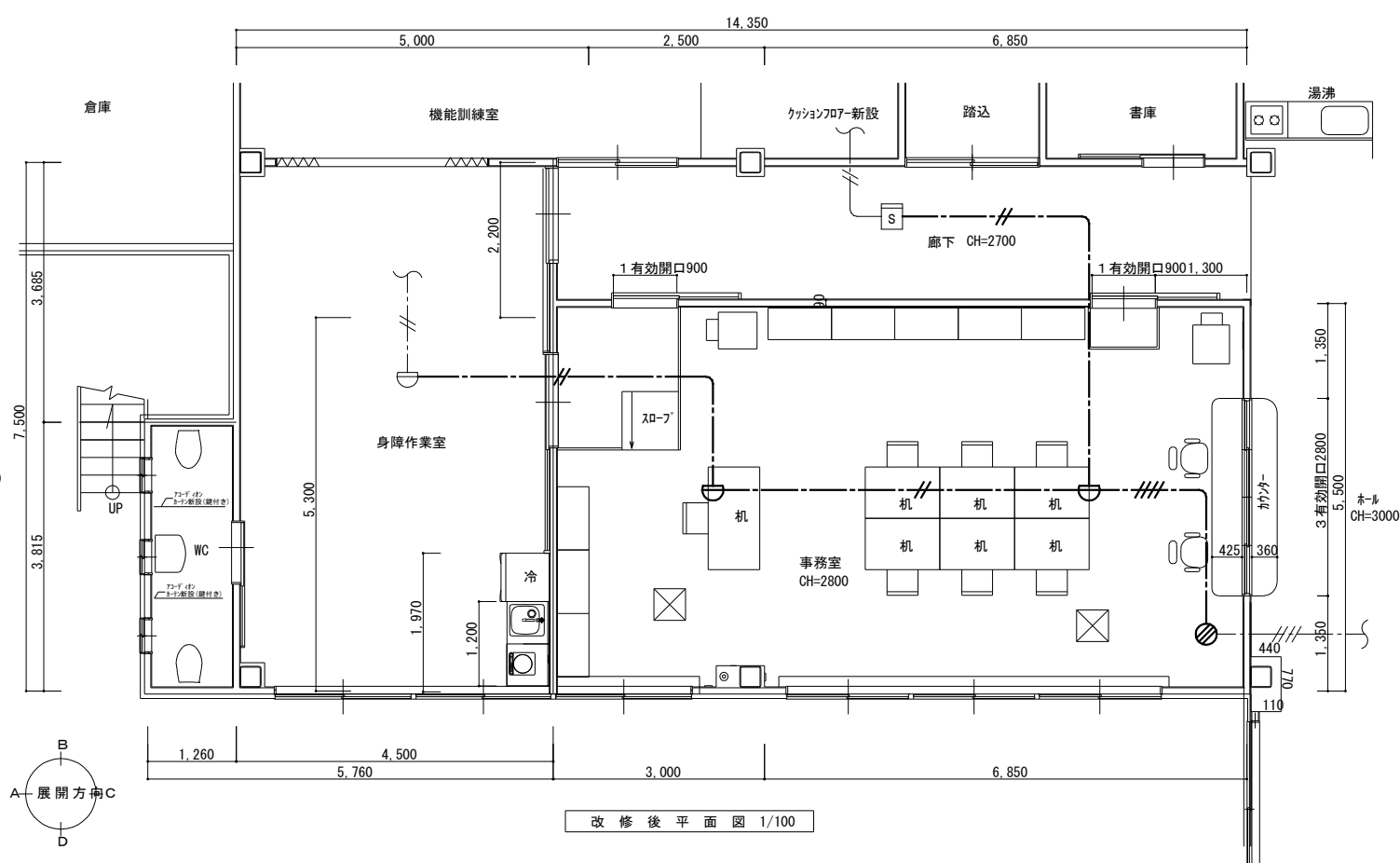
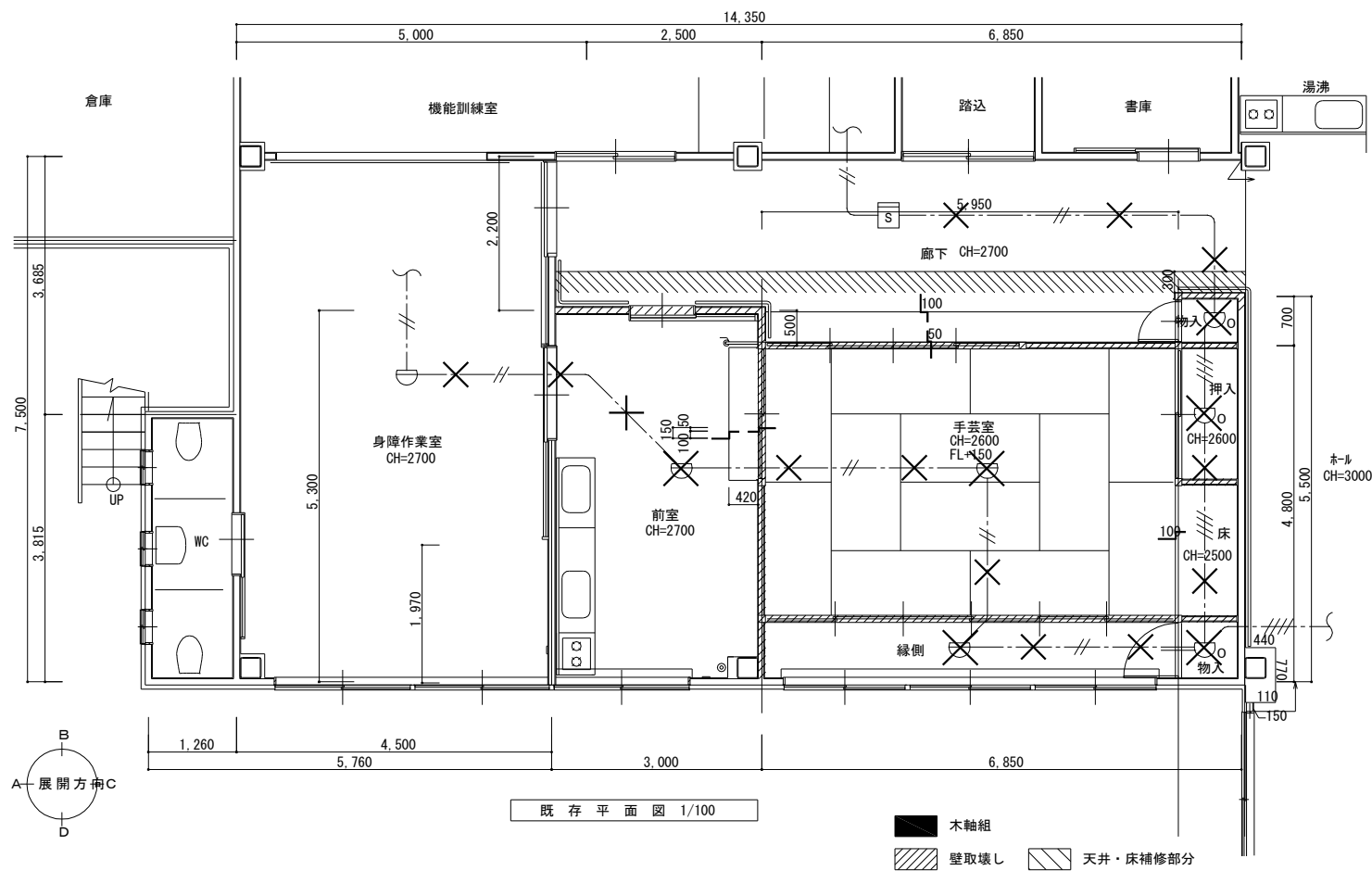
注 記

1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

- AE1. 2-3C (ころがし)
- PF空配管 (天井内)
- PF空配管 (OA内)
- 天井埋込スリ-カー (3W)
- アッテネ-ター (新金属)
- テレビ・モン-ユラ (新金属)
- OA707配線取出口

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 浦安地区公民館移転改修工事		NO E 6
DATE	CHIEF	DRAW R4.1				弱电設備 撤去・改修図(事務室)	S S=1:100	





注 記

1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

	撤去
	天井ころがし配線

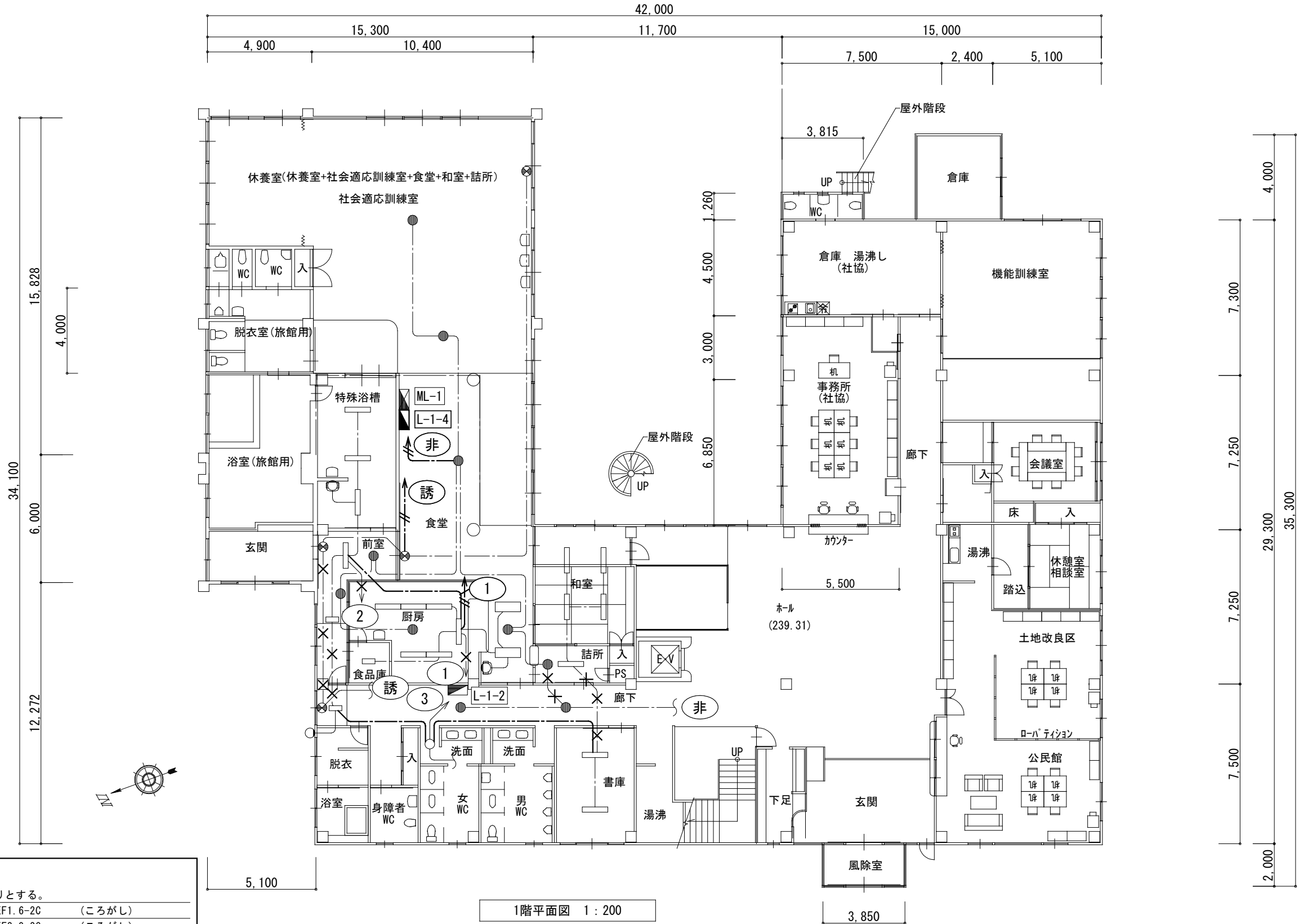
注 記

1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

	EM-AE0.9-2C	(ころがし)
	EM-AE0.9-4C	(ころがし)
	差動式スモット型感知器	2種 露出型

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン <b>カノン設計室</b> TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 浦安地区公民館移転改修工事  自火報設備 撤去・改修図(事務室)  S S=1:100	NO E — 7  DRAWING NO
DATE	CHIEF	DRAW R4.1	KANNON			





注 記

1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

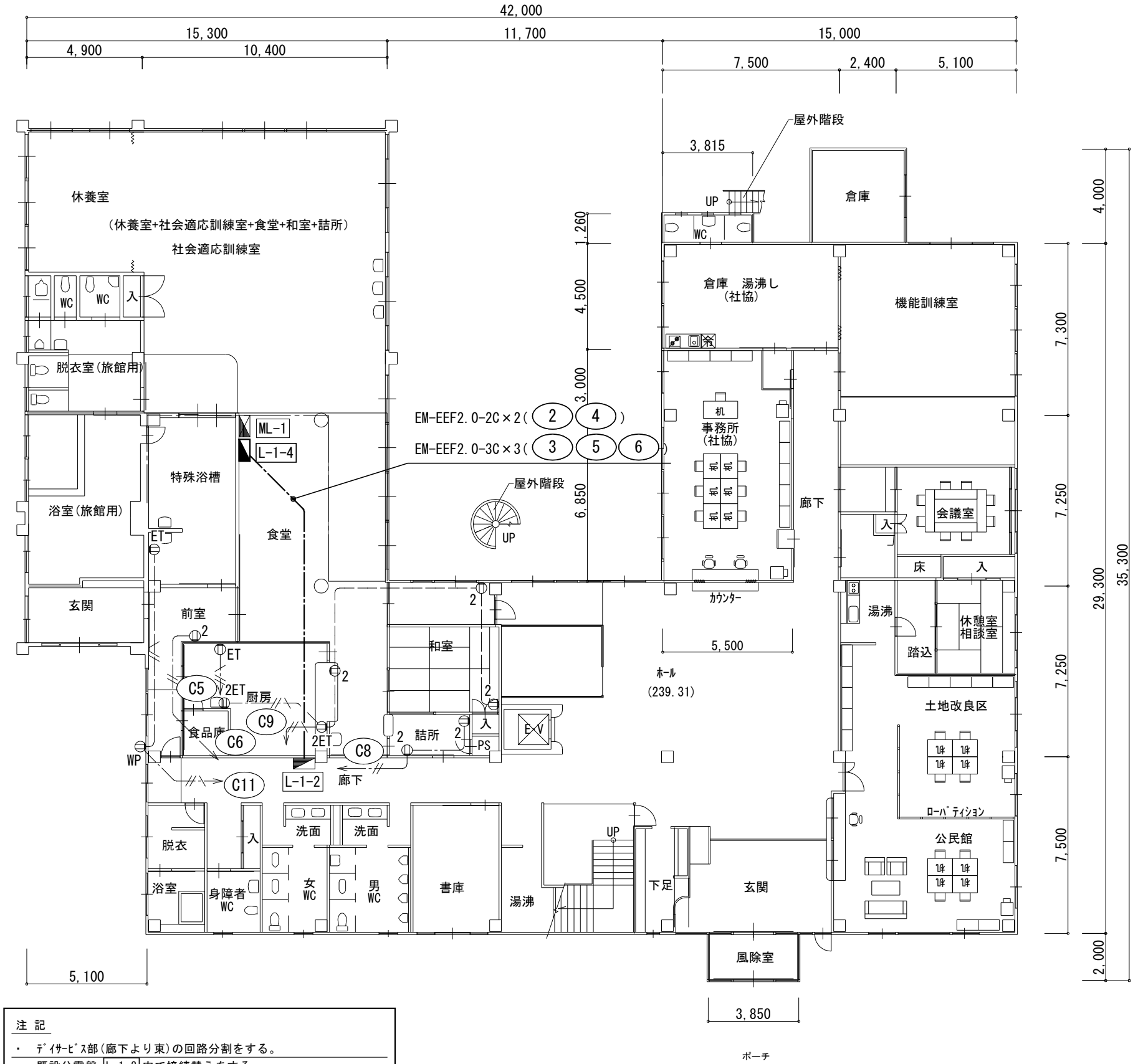
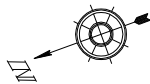
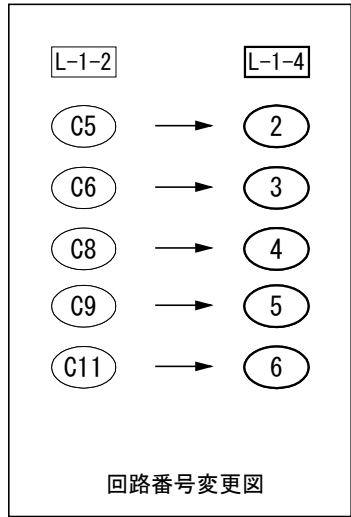
-----	EM-EEF1. 6-2C	(ころがし)
-----//-----	EM-EEF2. 0-2C	(ころがし)
-----//\-----	EM-EEF2. 0-3C	(ころがし)

・ デイサービス部分(廊下より東)の回路分割をする。

・ × は切離しを示す。

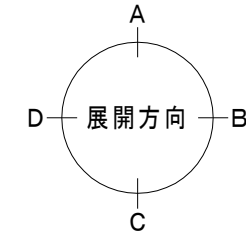
				1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン <b>カノン設計室</b> TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 浦安地区公民館移転改修工事		NO E — 8	
				DATE CHIEF DRAW R3. 12			S 電灯設備(デ・イ・ビ・ス) S=1:200		DRAWING NO	





注 記

- ・ デイサービス部(廊下より東)の回路分割をする。
- ・ 既設分電盤 L-1-2 内で接続替えをする。



1階平面図 1 : 200

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン <b>カノン設計室</b> TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE 浦安地区公民館移転改修工事  コンセプト設備(デイサービス)  S S=1:200	NO E — 9  DRAWING NO
DATE	CHIEF	DRAW R3. 12	KANNON			